

診断書の作成は身体障害者福祉法第 15 条に規定する医師に限られます。**総括表 身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）**

氏 名		生年 月 日	年 月 日（ 歳）	男・女
住 所	〒			
① 障害名（部位を明記）			障害の状況及び所見 別紙のとおり	
② 原因となった 疾病・外傷名		交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他（ ）		
③ 疾病・外傷発生年月日 年 月 日 ・場 所				
④ 参考となる経過・現症（画像診断及び検査所見を含む。）				
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日				
⑤ 総合所見（再認定の項目も記入）				
[将来軽度化による再認定 要・不要] [再認定の時期 年 月]				
⑥ その他参考となる合併症状				
上記のとおり診断する。併せて下記の意見を付す。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 電 話 番 号 診療担当科名 科 指定医師氏名 印				
身体障害者福祉法第 15 条第 3 項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入すること。〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ 級相当） ・該当しない				
注 1 障害名の欄には現在起こっている障害、例えば呼吸器機能障害等を記入し、原因となった疾病の欄には慢性塞栓性肺疾患等原因となった疾患名を記入してください。 2 障害区分や等級決定のため、牛久市から改めて障害の状況及び所見について問合せする場合があります。				

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩くときに息切れがある。
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
- エ 平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- | | | | | | |
|---|-------|---|---|---|---------------|
| ア | 胸 | 膜 | 癒 | 着 | (無・軽度・中等度・高度) |
| イ | 気 | 腫 | 化 | | (無・軽度・中等度・高度) |
| ウ | 線 | 維 | 化 | | (無・軽度・中等度・高度) |
| エ | 不 | 透 | 明 | 肺 | (無・軽度・中等度・高度) |
| オ | 胸 | 郭 | 変 | 形 | (無・軽度・中等度・高度) |
| カ | 心・縦隔の | 変 | 形 | | (無・軽度・中等度・高度) |



4 換氣機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 . L (実測肺活量 . L)
 イ 1 秒 量 . L (実測努力肺活量 . L)
 ウ 予測肺活量 1 秒率 . % $\left[= \frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100 \right]$

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

$$\text{女性 } 0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$$

(予測式の適応年齢は男性 18 - 91 歳、女性 18 - 95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O_2 分圧

- ① 内気での検査数値 : | | | | | • | | | Torr

- ② 酸素吸入中での検査数値： ・ Torr

(酸素吸入の状況)

イ CO₂分圧： ・ Torr

ウ pH : 1 1 ・ 1 1 1 1

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合：〔 〕

6 その他の臨床所見

[]